

特集「願い」を込めた田んぼアート



田んぼアートを通じて
復興支援を。

「世界最大の田んぼアート」として平成27年にギネス世界記録®に認定された行田市の田んぼアート。今年のデザインは、能登の伝統的な祭礼である「キリコ祭り」です。

本年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの方が甚大な被害に遭われました。被害の大きかった能登地域では、地震から半年以上経った今も生活再建や復興に向け、さまざまな取り組みが行われています。そんな能登地域で人々の生活に溶け込み、盛んに行われている「キリコ祭り」は、平成27年に「灯り舞う半島 能登（熱狂のキリコ祭り）」として日本遺産に登録されました。本市も「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」として日本遺産に登録されており、伝統や文化を大切にしている地域として行田と能登の間には共通する部分があります。

こうしたつながりもあったことから、知名度のある田んぼアートに「キリコ祭り」を描くことで、より多くの人にこの祭りを知ってもらい、能登復興の後押し、支援につながることを心から願っています。

デザインに込めた思い

「キリコ祭り」は、巨大な灯籠「キリコ」を担ぎ、楽器の音や威勢の良い掛け声とともにまちを練り歩くもの。図柄にはキリコの他に、祭りを盛り上げる男女の姿や祭りの際に打ち上げる花火が描かれており、能登の人々が再び伝統行事を楽しむことができるよう、そして一日も早く日常の生活を取り戻すことができるよう願いを込めています。

また、キリコや提灯の中に描かれる「がんばろうー」や「能登」、「復興祈願」の文字は、石川県立能登高等学校書道部員が書いた作品を使用。能登に住む生徒たちの復興への強い思いもこれらの文字に込められています。

復興祈願